

子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
「1年間を通して扱う材を決め、材について知る」(10)			
	○昨年度の総合や桜町フェスティバルの振り返りをする。(2)	・「何に取り組んだか」「どんな力が身に付いたか」「今年どんな力を身に付けたいか」の観点を示す。	

【昨年度の振り返りでの児童の声】

(身に付いた力)

- ・気になったことを調べ、実践することができた。
- ・協力して大きなイベントを成功させることができた。
- ・自分たちで考え、新しいものを生み出すことができた。
- ・様々な手段で調べることができた。
- ・失敗の原因を突き止めることができた。
- ・より良くするために調べることができた。
- ・見る人の気持ちになって考えることができた。など

(身に付けたい力)

- ・自らすすんで動く力
- ・想像力を働かせたい
- ・失敗しても励まし合って進む力
- ・周りを見て何をするか考える力
- ・諦めずに挑戦する力
- ・失敗の原因を突き止め、次に生かす力
- ・自分たちのことだけでなく、学校全体のことを考える力
- ・新しい人とも協力できる力

一
学
期

- ・綿を使って作りたい。(コットンボール、クッション、座布団、飾り、ランプ、ドライフラワーなど)
- ・綿を育てて収穫したい。
- ・獲れた種を桜町フェスティバルで配りたい。
- ・パンフレット、オリジナルキャラクター、紙芝居などを作って綿を広めたい。
- ・種が綿に包まれている。綿の触り心地がいい。
- ・種子から油やマーガリンも作れるんだ！
- ・綿の日本の自給率は0%だって。

- 追究していく材(綿)について思いを膨らませ、調べる中で活動の見通しをもつ。(1)
- 綿を使ってどんなことができそうか考える。(1)
- 綿の育て方を調べ、世話の仕方について話し合う。(2)
- 畑を耕し、種を植える。成長を観察し記録する。(4)

- ・ロイロノートを使って一人ひとりがしたいことを共有し、模造紙に学級でしたいことをまとめ、共有する。
- ・他の種との違いに気付けるよう、綿毛の付いた種に触れる。
- ・やりたい子には綿の種を渡し、家庭でも育てられるようにする。

[1:課題を見出し、把握している]
<③課題対応能力>
○綿を使った物が身近にたくさんあることに気付き、人が長く利用してきたものであることを理解している。

「材を使った物作り、材についてさらに知ることを通して材を身近に感じ、材の魅力を考える」(10)

- ・綿は秋頃に収穫できるんだ。
- ・綿から糸ができるって！
- ・綿が身近なところに使われていることを紹介したいな。
- ・5月に植えた種が11~12月頃に収穫できるんだ。
- ・収穫までにできることはないかな。
- ・パンフレットやオリジナルキャラクターが作れるんじゃないかな。
- ・物作りの準備や練習ができるんじゃないかな。
- ・綿を使ってできた物はふわふわしていて気持ちがいいな。
- ・買った綿と種の綿毛の感触、ちょっと違うかも。
- ・クッションだと綿が見えなくなってしまうね。
- ・もっと綿の魅力が活かせる物はないかな。

- 綿について調べる。(2)
- 綿を使ってしたいことを活動計画にまとめることで、1年間の見通しをもつ。(2)
- 作りたいものを決め、綿が獲れるまでは購入した綿を使った物作りをする。(3)
- 振り返りをしながら、繰り返し行う。(3)

- ・「やってみたいこと」「紹介したいこと」「魅力」など、調べたことのまとめを意識させる。
- ・出し合ったアイディアをまとめたものは掲示し、綿の生長を楽しみにしたり、新しいアイディアを付け加えたりできるようになる。
- ・1年間の予定を立てる際、綿の種まきから収穫までを意識できるようにする。
- ・綿に関する本や資料、実物などを掲示し、日頃から触れられる環境を整える。

○綿の特徴、歴史などを調べることができる。
[1:課題を見出し、把握している]
○綿を育てたり、綿を使ったりした活動の見通しをもち、計画を立てることができる。
[2:課題解決の方法を考えている]
[3:協働して学んでいる]
<①人間関係形成・社会形成能力>
<③課題解決能力>
○綿を使った物作りを通じて、綿の魅力について考えている。
[4:学びを振り返り、次につなげている]
●物作りを通じて、綿の魅力は何か改めて考えようとしている。

「綿を収穫し、作品作りをする。綿にかかる探究活動を紹介することを通じて活動を振り返る。」(20)

二学期

- ・家でも物作りを試してみたい！
- ・今度はもっと上手に作るぞ。
- ・次はもっと綿の感触が分かる物を作りたいな。
- ・綿が生長してきたぞ。
- ・実から綿が獲れた！
- ・実より綿が大きい！
- ・獲れた綿を使って物作りがしたい！
- ・糸を紡いだり、このままの綿を使ったりできないかな。
- ・綿を育てた記録を紹介したい！
- ・綿で作った物も紹介したい！
- ・知らなかったこともたくさんあったよ。それも紹介したい！
- ・綿を身近に感じてもらえるようにキャラクターを作りたいな。
- ・ふわふわした感じが伝わるといいな。
- ・珍しい種の様子も伝えたい。
- ・身近にたくさん綿が使われていることが分かるようにしたいな。

夏休み 家庭で綿を使った物作り 綿の栽培

- 綿を使った物作りをする。(4)
- 綿の生長を観察し、記録する。(4)
- 綿の収穫をし、作品作りをする。(4)
- 自分たちの活動から、紹介したいことを出し合う。(2)
- 紹介したいことをパンフレットにまとめる。(3)
- これまでの活動を振り返りながら、オリジナルキャラクターを作る。(3)

各教科での学習との結びつき

国語: 文章に説得力をもたせるには 算数: 割合、帯グラフと円グラフ 理科: 植物の発芽と成長、植物や実の種子のでき方
社会: 国土の気候と地形、自動車の生産にはげむ人々、森林とともに生きる 家庭科: ひと針に心をこめて、ミシンにтра
イ! 手作りで楽しい生活 書写: めざせ! 新聞記者 図工: 季節を感じて など

- [1:課題を見出し、把握している]
- [2:課題解決の方法を考えている]
- <②自己理解・自己管理能力>
- <③課題対応能力>
- 振り返りを活かし、より綿の魅力が伝わるような物作りをしている。
- 生長する綿を継続して世話をしたり、記録したりしている。
- [3:協働して学んでいる]
- 友達と話し合いながら情報を取捨選択している。
- 実物の綿に触ることで、綿の特徴や魅力を捉えようとしている。
- [4:学びを振り返り、次につなげている]

三学期

- ・学習発表会で綿の魅力を伝えたい！
- ・綿が身近な物であることに気付いてほしい！
- ・自分たちの成長を見もらいたい！
- ・1年間の活動を、もっといろんな人に見てもらいたい！
- ・自分たちで育てたもので物を作るのは楽しい！
- ・友達と協力して作ることができた！

- 綿の魅力をまとめる。(3)
- 学習発表会等で綿の魅力を紹介する。(3)
- 1年間の成果となる活動を、地域の方や保護者に披露する。(2)
- 今年度の成果と課題をまとめる。(2)

- ・今までの活動を振り返り、魅力を発信するためにどんな方がよいか考えるようにする。
- ・広めたい、伝えたいという思いを形にするために、これまでの学習が生かせないか考えられるようにする。
- ・探究活動での成長を実感できるようにする。
- ・学んだことを6年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。

- [1:課題を見出し、把握している]
- [2:課題解決の方法を考えている]
- 綿や活動を紹介するために、相手意識や目的意識を明確にしてまとめる方法を考えている。
- [3:協働して学んでいる]
- 情報を取捨選択して表現方法を考え、まとめていく。
- [4:学びを振り返り、次につなげている]
- <②自己理解・自己管理能力>
- <④キャリアプランニング能力>
- 1年間の活動を振り返り、自己の成長を自覚している。

材（綿）のもつ価値

- ・身近だが知らない綿について知り、製品化されていない綿に触れ、自ら栽培や物作りをすることで、長い間人が利用してきた綿の魅力に気付くことができる。
- ・綿を使った物作りは、身近な物が自然のものからできていることを実感し、人の技術に関心をもち、驚き、感謝を感じることができる。
- ・綿の栽培と並行した物作りを繰り返し行うことで、技術だけでなく、綿を活かし、綿の魅力を追究しようとすることができる。
- ・自分の作った物を見てもらうことで達成感を得、物作りの喜びを味わうことができる。

材（綿）に寄せる子どもたちの思いや願い

- ★綿を収穫したり、物作りをしたりすることを楽しみにしている。
- ☆自分たちの力で育てた綿を大切に収穫したいと願っている。
- ☆収穫した自分たちの綿を使って、物作りをしたいと願っている。
- ☆「綿」について活動したことを、みんなにも知ってほしいと願っている。
- ☆綿について知らないことを知ることが楽しいと思っている。
- ☆綿を育て、綿を使った物作りをしたり、綿についてみんなに知らせたりしたいと願っている。

★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い